

**MITSUMURA**

# ともにづくり、 ともに伝える。

わたしたちは、  
お客様のご要望に応えるために  
丁寧に対話します。  
常に技術に磨きをかけます。  
お客様と生み出したものが、  
受け取る人のこころを動かし、  
次のアクションにつながるように。  
人と技術で  
お客様と、ともにづくり、ともに伝える。  
それが光村印刷の理念です。

## 美術印刷

伝統に培われた技術で  
人の心に届く表現を追求しています。



03

## セールスプロモーション

制作から印刷まで、一気通貫してプロデュースし、  
企業の販促活動に欠かせない製品をお届けします。



05

## 新聞印刷・パノラマ印刷

技術力が詰まった設備と熟練したスタッフの手が、  
新聞やパノラマの印刷を可能にしています。



09

## フォーム印刷・偽造防止技術

フォーム、証券、商品券などの社会を支える重要印刷物の  
分野で、独自の技術とノウハウが活かされています。



11

## 包装資材

厳しい検査をクリアした高い安全性を保つ包装材は、  
様々な業界から高い評価を得ています。



13

## フラットパネルセンサー

印刷分野で培った高精度な加工技術を活かし、  
フラットパネルセンサーを研究開発・製造しています。



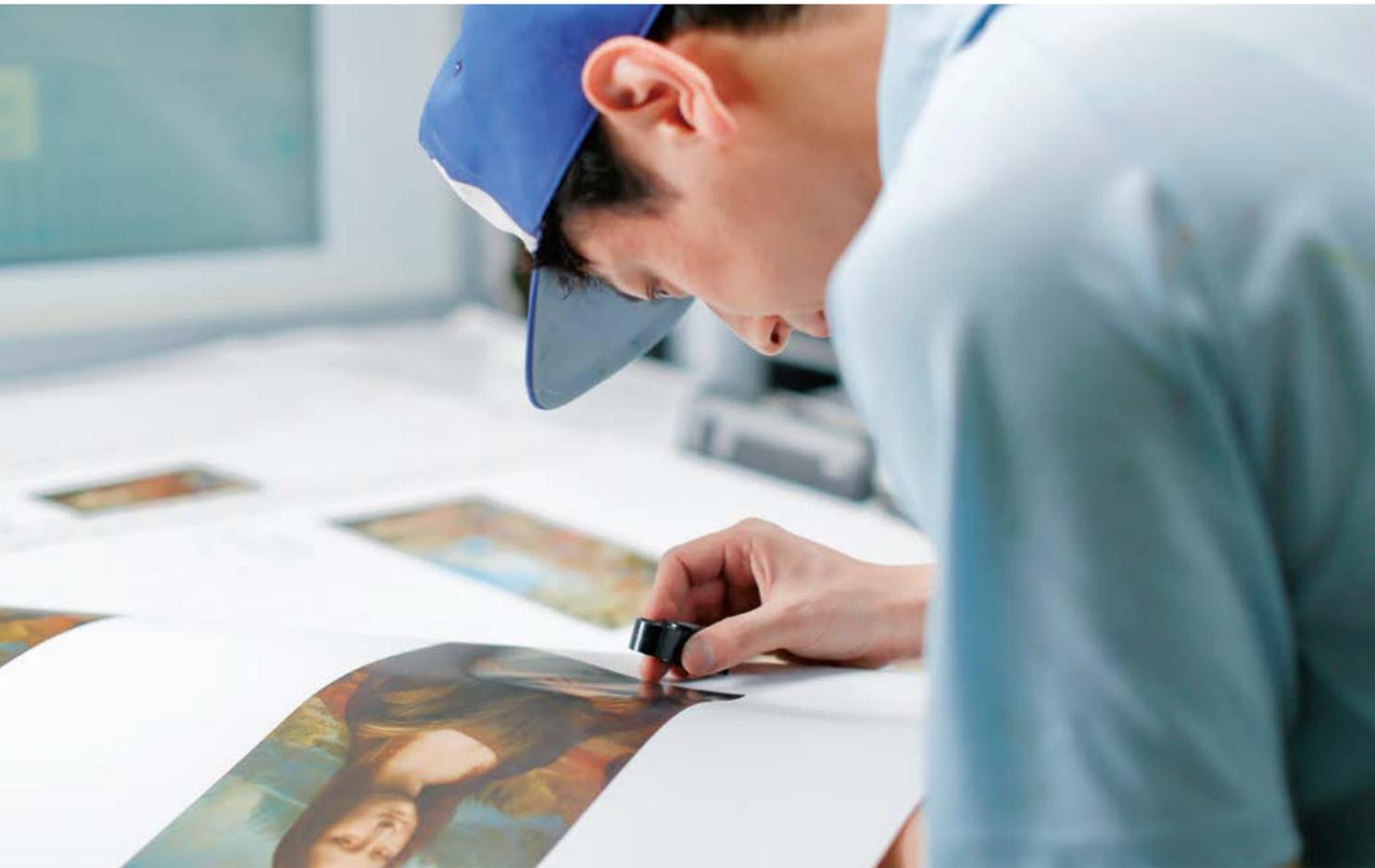
15

## エッチング精密製品

メタルマスクなどの治具類から電子部品、模型部品、ノベルティまで、  
高精度な技術力が必要になる製品で幅広く活用されています。



16



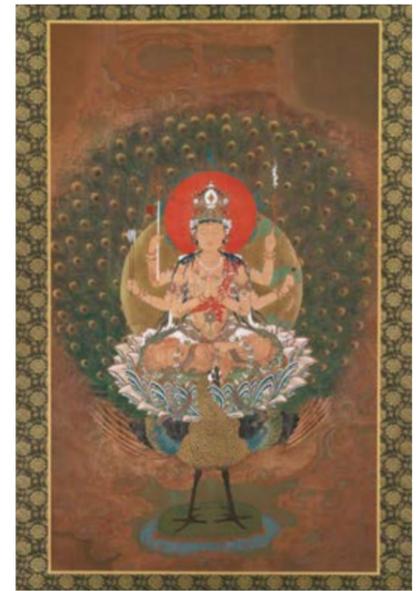
## 受け継ぐ、 審美眼。

1/100mmの世界。  
無数にあるインクの点。  
狙った場所に、正しく並んでいるのか見極める。  
「美の再現」を追求し続けた創業者の意志が  
美術印刷の随所に現れている。

## 美術印刷の歴史

作品がもたらす感動を、  
人々に伝えるために。

光村印刷の原点は創業者の光村利藻。日本で初めて映画を撮影した人物として知られ、写真、絵画、映画など芸術に強い関心を示す、好奇心旺盛な趣味人でした。1901年に関西写真製版印刷合資会社を創立してからは、世界最大・最多色の木版画「孔雀明王像」をセントルイス万博に出展し、名誉金牌を受賞するなど、飽くなき美の再現を追求し続けました。利藻の芸術への憧れと畏敬の念は、社員一人ひとりに受け継がれ、人の心を動かす美術印刷を生み出す原動力となっています。



「孔雀明王像」木版画

## 印刷技術

作品に込められた心の温度までも  
再現し、伝える技術。

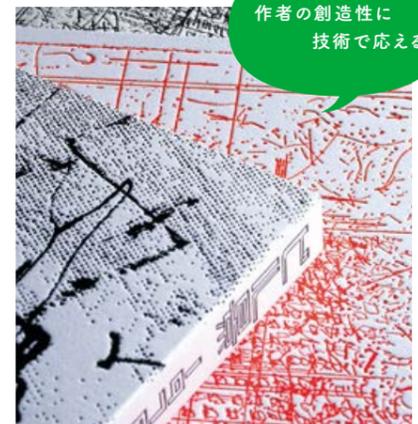
色彩や質感などの作品の再現性に関わる多くは、生産に携わる社員の経験と技術、そして感性によって作られていきます。さらに、経験豊富なプリンティング・ディレクターが、撮影段階から印刷の最終工程まで、責任を持って一貫管理する体制を整えています。こうした印刷に対するクオリティの高さが評価され、著名な作家の方々から厚い信頼を獲得するに至っています。



大竹伸朗 ビル景 1978-2019  
「第61回全国カタログ展 図録部門」において、  
経済産業大臣賞を受賞



「JAPON-JOCONDEモナリザ百微笑」  
モナリザ日本公開を記念して中村誠、福田繁雄の両氏が制作(1974年)



作者の創造性に  
技術で応える

活版印刷により、見ても触れても美しい図録になっている



## 親身に、 一途に。

スタートからゴールまで、考え続ける。  
最適解は何だろうか。  
企画から制作、最適なメディアのご提案まで。  
お客様と、膝をつき合わせることで  
見えてくるアイデアがある。

## 一気通貫のサポート

印刷だけにとどまらず、  
お客様のパートナーとして。

### 撮影

撮影段階からフルデジタル化を可能にするスタジオを本社に併設。撮影前には企画立案や打ち合わせを通じて、完成イメージを共に築き上げていきます。撮影立ち会い時には仕上がりを想定した色表現やイメージの確認をスピーディーに行うことができます。もちろん動画撮影にも対応しています。



### 制作

デザインだけでなく取材やデータを活かし、あらゆる角度からベストに仕上げるスタッフが揃っています。技術者の腕が試される場面の数々。その中でお客様の期待に応え続けることで、光村印刷のプリプレス部門に大きな信頼が寄せられています。



### 生産

製品によって生産における注意点は変化しますが、どの分野でも徹底しているのがクオリティの保持です。納期を厳守する時間管理、生産数を把握する数量管理、一つひとつ均一な仕上がりを担保する品質管理など、お客様が安心して任せられる生産体制を構築しています。



### 納品

迅速かつ正確な配送のみならず、製品保管やアッセンブリーといった納品前の業務など、「物流」を幅広い視野で捉え、多様なニーズを追求し続けています。また、B to B向けだけでなくDMなどカスタマー向けの配送も承っています。業務を担う「光村商事倉庫」では運送の安全確保等が評価され、Gマーク\*を取得しています。



\*国土交通省が推進する「安全性優良事業所」の認定制度。安全性の高いトラック運送事業者を選ぶための目安になります。

# お客様の課題解決のために、 最適なメディアでのアウトプットを。

## 商業印刷

人に“伝える”だけでなく、  
人を“動かす”商業印刷。

広告宣伝ツールで、いかに人々に企業や商品の魅力を伝え、アクションに結び付けるか。これが、光村印刷の商業印刷が担う使命です。印刷品質の良さだけではなく、ニーズを的確に捉える企画力と、ご要望に速やかに対応する行動力を武器に、印刷ソリューションを充実させ独自のサービスを提供します。



カレンダー・カタログから業界紙まで、幅広い商材を扱っています

## POP

POPのスペシャリストが、企画から  
設計までトータルにご提案。

購買の最後の決め手と言われる重要な販促ツール、POP製品。光村印刷では、POP専門のデザイナーが生活者目線を意識したユニークな企画を立て、運送コストや使い勝手まで考慮した設計・デザインをもとに、多様な印刷・加工技術を駆使して、店頭で注目を集めるPOP製品を作り上げます。数多くの賞を受賞している、光村印刷の得意分野の一つです。



専門スタッフが  
全ての工程を担当

## デジタルコンテンツ

ビジネスに有効なコンテンツ全般の制作。  
ニーズに応える電子書籍・カタログ制作。

光村印刷では、スチール撮影可能な社内スタジオと動画の制作・編集を行う専門部門を持ち、多くの企業の研修ビデオ、イベント関連映像などの制作実績があります。企画から、撮影、高解像度の映像編集まで対応し、デジタルサイネージやWebコンテンツとしての展開も手がけています。また、スマートデバイスのニーズに応えるべく、電子書籍やタブレット端末の営業支援ツールなどを制作しています。紙媒体にも電子媒体にも対応できる編集力や技術力が強みです。



マルチデバイス対応のサイト制作が可能



## デジタル印刷

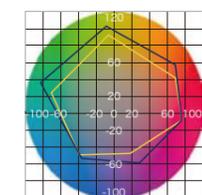
デジタル印刷物に  
高品質という価値を。

創業時より積み上げてきた製版技術(色調再現)と高画質インクジェットデジタル印刷機を組み合わせることで、デジタル印刷物も美術印刷のようなクオリティで生産可能になりました。刷版や色調・見当合わせが不要のため、オフセット印刷以上の印刷物を短納期でリーズナブルに提供できます。また、ダイレクトメールの一括受託サービスも提供しており、封入物の企画・制作から、印字、封入、発送までトータルでサポート。当サービスのワークエリアでは、ネットワークを外部と遮断し、PCの操作監視・外部メディア検知遮断などのセキュア環境を構築しています。



高画質インクジェット  
デジタル印刷機「Jet Press」

Jet Pressの色域について



— Jet Press  
— Japan Color

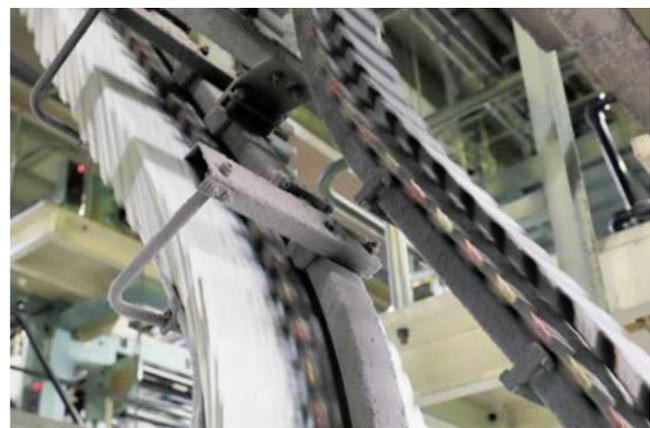
印刷網点の比較(マゼンダ20%)



オフセット印刷  
(AM175線)

Jet Press

※Jet PressではJapanColorよりワイドな色域を持つため、鮮やかで高品位な表現が可能です  
※この会社案内は、Jet Pressで作成しています



## 緻密と迅速。

- 分刻みで組まれるスケジュール。
- 刷られるスピードは毎分1,000部。
- スタッフによる緻密な準備とメンテナンス。
- 新鮮な情報を届ける、人々が驚くダイナミックな広告をつくる。
- 光村はその力量で、重責ある印刷を担う。

## 新聞印刷

正確さとスピードの両立を、  
守り続ける。

光村印刷の新聞印刷は、読売新聞日曜版のカラー印刷から始まりました。現在では埼玉県および東京都内一部の朝夕刊、さらに同地域のスポーツ報知でも、優れたカラー技術と高い納期管理能力をフルに発揮。一分一秒を争う時間との真剣勝負の中で、見やすい紙面づくりに貢献し、社会の公器である新聞の果たす使命を長年にわたり守り続けています。



データから直接製版を行うCTPルーム



## パノラマ印刷

迫力と圧倒的情報量を誇る、  
国内有数の印刷表現。

新聞印刷で使用する輪転機を使用し、国内でも数少ない大型パノラマサイズの印刷も承っています。イベント告知や大判カタログ、等身大ポスターなどダイナミックな表現でインパクトのあるツールとして好評です。



パノラマ印刷の特徴 1. 最大160cm、迫力ある紙面が魅力 2. 圧倒的な情報量を掲載可能 3. 高品質カラー印刷を採用



## ないなら、 つくる。

判型、紙質、セキュリティ——

お客様が求める答えは、既存のフォーマットにあるとは限らない。

だから、印刷物の設計から考える。

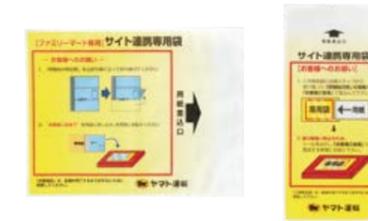
時には、機械までカスタマイズする。

印刷は、需要の数だけ、カタチがある。

## フォーム印刷

**お客様のニーズに応えるために、  
ゼロからつくる。**

伝票、連続帳票などのフォーム印刷の分野では、お客様のニーズに応えるため、様々な開発・改良を行っています。配送の際に使われる伝票類では、「紙と紙」を貼り合わせるラベル型宅配便送り状や、「紙とフィルム」を貼り合わせるバック状製品、さらに一部分を粘着加工した製品など、印刷からのり付け、断裁、折り加工までを一台で完結できる設備で生産しています。



納品書や請求書などを品物に貼り付け  
配送するデリバリーパック



ラベル型宅配便送り状

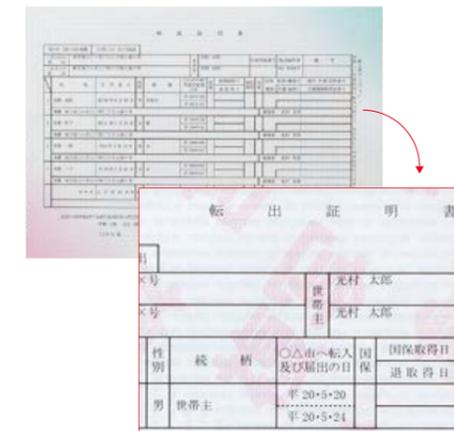
## 偽造防止技術

**高度な特許技術・独自技術で  
重要印刷物を守る。**

企業や自治体の機密文書、証券、商品券などの重要印刷物には、高い品質とセキュリティが欠かせません。例えば、他のほとんどの偽造防止技術と併用できる「コピテクト・レリーフ」は、絵柄を網点で構成することで細かな彩紋などの画像も再現性を保てる技術です。さらに「ステルスマーク」や「コピテクト・カラー」、特殊インキ、すかし、マイクロ文字などを組み合わせた高度技術で、重要印刷物を守ります。



「コピテクト・レリーフ」など  
様々な偽造防止技術が施された商品券



コピーをとると色のついた隠し文字が現れる  
特許技術「コピテクト・カラー」



## 包むのは、 ブランド。

見栄えの良い外見にすることだけが包装材の役割ではない。

例えば医薬品。

箱の中の商品が動かないように、

細かな設計が施されている。

包装材はお客様への誠実さ、そのものである。

## 包装材・パッケージ

**包装材のエキスパートとして、  
高い評価を得ています。**

市販薬や病院向け医薬品の包装材・パッケージの分野では、GMP省令\*に則り、手順通りに工程を踏めるか、品質管理を徹底できるかという観点で製造計画を作成します。一枚の紙から作られる包装材の設計から印刷、配送など全てのプロセスでスペシャリストを配置。ワンストップで提供できる体制を整えています。また、化粧品のパッケージや菓子箱なども手がけています。さらに、医薬品などの添付文書も製造しており、高性能な折り機により、様々な包装材に封入できます。

\*医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準に関する省令



## ショッピングバッグ・ボックス

**生産予測を取り入れた在庫管理の  
効率化でコストを抑え、欠品を防ぐ。**

光村印刷グループでは、ラグジュアリーブランドを中心にショッピングバッグ・ボックスの製造・輸入、発送や在庫管理などを請け負っています。独自のシステムで生産予測数を計算し、適宜製造・輸入することで、店舗における備品類の欠品を防ぎ、安定供給を実現します。製造に関しては、香港の提携会社において長年にわたり高品質のブランド用資材品の製造を行っており、高い評価をいただいています。

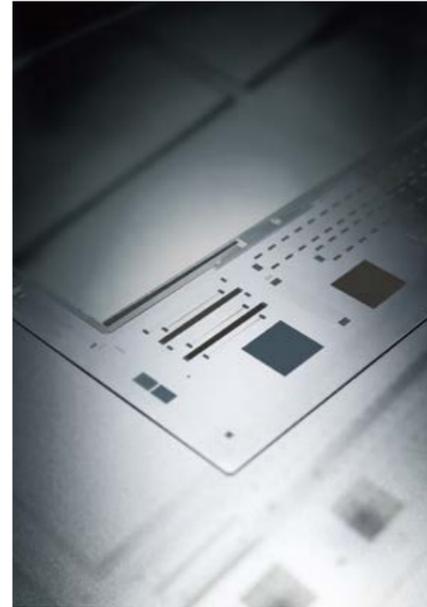


## フラットパネルセンサー



### あらゆる場所で活かされる 光村の技術力。

光村印刷では、1980年代から、ガラス上にディスプレイ向けの機能性加工を施す研究・開発を始め、2007年からは、長い経験の中で培った、高精度加工技術を駆使し、投影型静電容量タッチパネル向けのセンサーガラスの配線加工品を製品化しています。いまや生活のあらゆる場所で使用されている投影型静電容量タッチパネル。センサーガラスにおいては、業界に先駆け量産化を行い、様々な構造のセンサーガラスを手がけることで、研鑽と実績を重ねています。



タッチパネルの基板はガラスの他、薄型化・軽量化・曲面加工等が期待できるフィルム素材も開発

### タッチパネル用センサーガラス生産

スマートフォンの普及から、その用途が大きく広がった投影型静電容量タッチパネル。高度化する情報社会の中で、マン・マシン・インターフェースとして、大きな広がりを見せています。当社製品は、高い環境信頼性が要求される自動車搭載用に採用されています。さらに、2019年より大型化・高感度に対応すべく、車載用Agメッシュセンサーガラスの量産を開始し、お客様のニーズに幅広く対応しています。



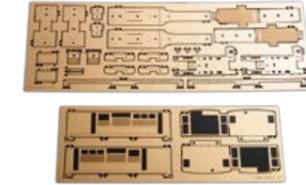
当社のセンサーガラスを用いた車載用投影型静電容量タッチパネル

## エッチング精密製品



### 先進産業を支える、 高精度な技術。

複雑かつ微細な形状を、ミクロンレベルの精度で製作できる精密加工技術、フォトファブ리케이션。光村印刷は、印刷分野で磨いた技術を応用し、このフォトファブ리케이션でエレクトロニクス産業を支えています。自由な設計と高精度の加工が特徴で、多品種小ロットのメタルマスクや電子部品などの精密部品に用いられています。設計から検査工程に至るまでの一貫管理で、高品質・短納期・低コストを実現しています。



模型部品



多種多様なエッチング技術を施したサンプル

### 取扱製品

■ **パターン製品**  
(CAD入力による直書き、カメラ撮影によるイメージ製版等)  
フィルムマスク、エマルジョンガラスマスク、クロムマスク、印画紙など

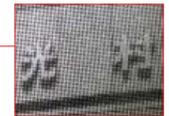
■ **エッチング製品**  
(感光性樹脂を保護膜とした金属板の腐食加工)  
通信機器関連部品(スパッタ用メタルマスク、アッセンブリー用治具)  
OA、FA関連部品(各種サスペンション、光学レンズ用コート治具、グリッド、電極板、カメラ用視野枠、エンコーダー)  
電子部品、半導体関連部品(リードフレーム、ヒートシンク、コネクタ端子、メタルマスク、搬送用治具)  
医療用機器、模型部品、その他(装飾品、ノベルティなど)

■ **フォトフォーミング(電鍍)製品**  
(メッキ法による薄膜の形成加工)  
微小径アパーチャー、高精度メタルマスク

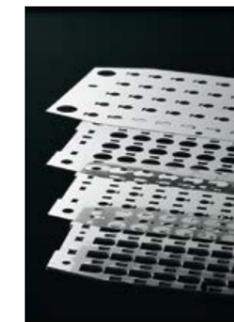
■ **エッチング品の後加工とその他関連加工品**  
抵抗溶接、レーザー溶接、機械加工、拡散接合、曲げ、メッキ、電解研磨、化学研磨、サンドブラスト



ノベルティ



網点をハーフエッチングで再現



独自技術の「マグネット式メタルマスク」



レーザーフォトリソ

## □ 会社概要

**商号** 光村印刷株式会社(東京証券取引所市場第一部上場)

**代表者** 代表取締役社長 嶋山 芳夫

**創業** 明治34年10月20日

**設立** 昭和11年12月21日

**資本金** 56億788万円(2021年3月31日現在)

**URL** <https://www.mitsumura.co.jp>



### 営業品目

- 美術印刷
- 商業印刷
- POP
- デジタルコンテンツ
- デジタル印刷
- 新聞印刷
- パノラマ印刷
- フォーム印刷
- 偽造防止技術
- 包装材・パッケージ
- ショッピングバッグ・ボックス
- フラットパネルセンサー
- エッチング精密製品

### 事業所

**本社** 〒141-8567 東京都品川区大崎1-15-9  
TEL:03-3492-1181(代表)

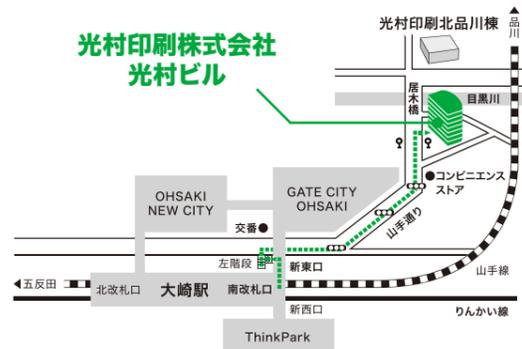
**大阪支店** 〒541-0042  
大阪府大阪市中央区今橋2-2-17  
グロース北浜ビルディング3階  
TEL:06-6229-5120

**川越工場** 〒350-1165 埼玉県川越市南台1-1-1  
TEL:049-242-4025

**草加工場** 〒340-0013 埼玉県草加市松江5-2-31  
TEL:048-935-1201

**那須工場** 〒324-0036 栃木県大田原市下石上1378-7  
TEL:0287-29-2610

**狭山工場** 〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山1-3-6  
TEL:04-2952-7255



東京都品川区大崎1-15-9  
○ JR/りんかい線/[大崎駅]南改札新東口より徒歩6分  
○ 東急バス(渋谷駅⇄大井町駅)[居木橋]前



## □ 沿革

### I 創生期

- 1901 (明治34年)** 光村利彦、神戸に関西写真製版印刷合資会社を設立。
- 1904 (明治37年)** 世界最大・最多色の木版画「孔雀明王像」を、米・セントルイスで万国博覧会に出品、名誉金牌を受賞。
- 1906 (明治39年)** 光村合資会社と改称。
- 1918 (大正7年)** 現東京・神田神保町にて光村印刷所を開業。
- 1928 (昭和3年)** 社名を光村原色版印刷所と改称。
- 1934 (昭和9年)** 現在地、東京・大崎に写真スタジオ、原色版・オフセット印刷の工場、社屋を建設し、移転。

### II 光村印刷の誕生

- 1936 (昭和11年)** 株式会社組織となる。
- 1949 (昭和24年)** 教科書の出版を目的とした光村図書出版設立。
- 1961 (昭和36年)** 東京証券取引所市場第二部発足と同時に上場。

### III 近代的総合印刷会社へ

- 1967 (昭和42年)** 埼玉県川越市で平版枚葉工場(現川越工場)の操業を開始。
- 1969 (昭和44年)** 川越工場に新聞用オフセット輪転機導入、読売新聞日曜版のカラー印刷開始。
- 1970 (昭和45年)** ビジネスフォーム・帳票印刷を主とする草加工場竣工。
- 1983 (昭和58年)** 読売新聞日刊紙の印刷を開始。
- 1990 (平成2年)** 栃木県大田原市にフラットパネルディスプレイ関連製品の製造を専門とする那須工場を建設。

### IV 新たなる挑戦

- 1991 (平成3年)** 社名を変更し、光村印刷とする。
- 1994 (平成6年)** 光村印刷と細川活版所が合併。
- 2002 (平成14年)** 東京証券取引所市場第一部に上場。環境保全のため、FSC®の森林認証を取得。
- 2014 (平成26年)** 「Japan Color 認証(標準印刷認証)」を取得。那須工場においてメガソーラー発電事業を開始。
- 2018 (平成30年)** 包装材を主力にする新村印刷をグループ会社に加える。
- 2020 (令和2年)** グリーンプリンティング認定を取得。

## □ メセナ活動(文化・芸術支援)

光村印刷は芸術がもたらす感動を多くの人々に伝えるべく、メセナ活動に力を入れています。

本社ビルにあるMGG(光村グラフィック・ギャラリー)では、

「つくり、つたえ、のこす。」のコンセプトのもと

一流アーティストたちの作品展覧会や、

様々なイベント・ワークショップを開催しています。



光村図書出版創立70周年記念  
教科書 time travel ー過去から未来へー



あっちゃんあがつく えほんのせかい展



第21回多摩美校友会チャリティ展2018



HIROSHIMA ART DIRECTORS CLUB  
In TOKYO展



7年目の青葉益輝展



黒田泰蔵 白磁 写真 造本 印刷



第22回写真家達によるチャリティー写真展

## □ 環境への取り組み

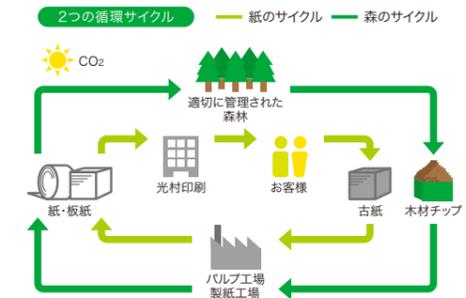
**環境負荷の低減に努め、  
太陽光発電事業などを展開しています。**

光村印刷グループは、地球環境と企業活動の調和を追求しています。その一環として、那須工場の敷地の一部に大規模太陽光発電システムを設置し、メガソーラー発電事業を行っています。太陽光という環境負荷の少ない再生可能エネルギーを利用して、電力供給不安緩和への貢献と、地球環境保全に関する取り組みを強化することが目的です。また、世界中の森林の劣化や消失を食い止めるべく、適切な森林の管理・経営を進める手段として国際的に展開されているFSC®(Forest Stewardship Council®(森林管理協議会))森林認証制度のFSC-CoC認証を取得しています。また、印刷業界の環境自主基準(印刷サービスグリーン基準)を達成し、グリーンプリンティング認定\*を取得しています。

\*日本印刷産業連合会が制定した自主認定制度で、消極的な環境対応から積極的な環境配慮への転換を図る取り組みです。



那須工場 太陽光発電所



## □ 個人情報保護への取り組み

**安心できるお取引のために、  
個人情報保護に取り組んでいます。**

光村印刷では、取引先、従業員を含めたすべての個人情報を保護することが事業活動の基本であり、重要な社会的責務であると認識しています。そこで、プライバシーマークを取得し、社内教育や内部監査の実施、主力事業所へのセキュリティシステム導入など、個人情報保護に取り組んでいます。



## □ 購買に関する取り組み

**お取引先との健全な購買活動を  
常に目指しています。**

私たち光村印刷グループは企業理念のもとグループ企業行動指針に則って、お取引先との購買活動においては、下記の購買基本方針を実践します。

### 1. 公平・公正な取引

光村印刷グループはお取引先に公平に競争の機会を提供し、品質・価格・納期・安定した供給態勢・経営状況等を総合的に判断し、お取引先の選定を実施いたします。

### 2. 相互信頼関係構築の追求

光村印刷グループはお取引先を当社企業理念「ともにつくり、ともに伝える。」を実現する上での良きパートナーと考え、安定的な相互信頼関係を構築し共に発展することを目指します。

### 3. 法令遵守・環境への配慮

光村印刷グループは、法令や社会規範を遵守し、環境・安全・健康などに十分配慮した購買活動を実践します。

## □ 制作・製造拠点紹介

光村印刷グループでは、より一層の顧客満足度向上を目指し、

川越工場、草加工場、那須工場、狭山工場の4つの生産拠点を軸に、安定した生産体制を確立しています。

創業から110余年の間に培われた、高度な技術と最新鋭の設備を集約し、

光村印刷の基盤となっています。

### 居木橋スタジオ

〒140-0001 東京都品川区北品川4-10-5  
TEL:03-5448-1995

撮影から画像処理、印刷まで一貫したデジタル・ワークフローをお届けしています。ミニキッチン、メイクルーム完備。



### スタジオ トゥインクルランド

〒140-0001 東京都品川区北品川4-10-5  
TEL:03-5793-7861

4K映像やハイレゾ音源といった最新データに対応可能な映像・音響スタジオです。CMやミュージックビデオなどの映像コンテンツをサポートするポストプロダクションです。



### 川越工場

〒350-1165 埼玉県川越市南台1-1-1  
TEL:049-242-4025

敷地面積約35,000㎡。  
新聞印刷を中心に、各種商業印刷物や精密部品の生産を行うメイン工場です。



### 草加工場

〒340-0013 埼玉県草加市松江5-2-31  
TEL:048-935-1201

敷地面積約22,500㎡。  
宅配便の送り状や帳票、証券などの公共性の高い印刷物を主とし、セキュリティシステムを導入しています。



### 那須工場

〒324-0036 栃木県大田原市下石上1378-7  
TEL:0287-29-2610

敷地面積約50,000㎡。  
フラットパネルセンサー関連製品専門の最新鋭のオートメーションファクトリーです。



### 狭山工場

〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山1-3-6  
TEL:04-2952-7255

敷地面積約16,500㎡。  
新村印刷株式会社の中核事業である包装・パッケージ製品の製造を行っています。



## □ 関連会社紹介

### 新村印刷株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-15-9 光村ビル9階 TEL:03-6431-8877

包装・パッケージ分野を事業の柱とし、高度な専門知識を持った包装専士・包装管理士やCADチームを有し、ISO9001認定工場にて製造。機能的で高品質な製品をお届けしています。



### 株式会社光村プロセス

〒140-0001 東京都品川区北品川4-10-5 TEL:03-5449-0801

印刷の品質を支える製版工程の全般を担い、印刷の持つ豊かな表現力を追求。多くのお客様から品質の高さをご評価いただいています。



### 株式会社城南光村

〒140-0001 東京都品川区北品川4-10-5 TEL:03-6420-3142

新聞折込み広告や書籍印刷といったニーズに対応するオフセット輪転印刷専門会社です。



### 光村商事倉庫株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-15-9 TEL:03-6412-9333

グループの物流キーステーションとして、発送や製品保管業務を担当。セキュリティシステムを備えた自動倉庫も導入しています。



### 株式会社メディア光村

〒140-0001 東京都品川区北品川4-10-5 TEL:03-5793-7861

多様な映像コンテンツをトータルプロデュースしています。時代のニーズに沿った新しい映像作りを心掛けています。



### 株式会社大洲

〒112-0002 東京都文京区小石川5-2-2 TEL:03-3818-6001

海外高級ブランドのショッピングバッグ・ボックスなどの製造・輸入販売や宣伝物の印刷および販促品を取り扱っています。



### 群馬高速オフセット株式会社

〒375-0051 群馬県藤岡市本動堂250-5 TEL:0274-24-4800

平成8年に読売新聞を印刷する19番目の工場として設立しました。読売新聞・スポーツ報知・The Japan News(英字紙)をはじめとした印刷事業を行っています。



### 光村図書出版株式会社

〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9 TEL:03-3493-2111

小学校・中学校・高等学校の教科書や各種教材の編集・発行を手掛ける出版社です。発行される良質な教科書は多くの学校で採用されています。



光村印刷株式会社